

浚渫船で初めて『GTL 燃料』の使用が開始されました

伊藤忠エネクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡田賢二）は、若築建設株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：烏田克彦、以下「若築建設」）が所有するグラブ浚渫船「若鷺丸」において、当社が取扱う『GTL 燃料』を使用した運用が開始されたことをお知らせいたします。

今回の『GTL 燃料』採用は、大手建設会社が浚渫作業向けの燃料として『GTL 燃料』を正式に採用した初めての事例となります。

若築建設では、マテリアティ（重要課題）^{※1}の策定や JCLP^{※2}加盟を通じ、カーボンニュートラルの実現や気候変動への対応など、グリーン社会（脱炭素社会、気候変動適応社会、自然共生社会、循環型社会）の実現に、責任ある企業として貢献できるよう、建設工事での CO₂ 削減、再生可能エネルギー事業への参画およびブルーカーボンの取組みなどを積極的に推進しております。

当社が取扱う『GTL 燃料』は硫黄分・芳香族分を事実上殆ど含まず、燃焼時の CO₂ 削減効果、NO_x（窒素酸化物）や PM（ばい煙や粉じんなどの粒子状物質）の低減効果を期待できる環境負荷の少ない燃料です。これらの特徴が上記若築建設のコンセプトに合致し、この度の供給開始に至りました。また、本用途に限らず、作業現場にて稼働する重機やフォークリフトへの適用等、引き続きご検討をいただいております。

エネクスグループでは、経営理念「社会とくらしのパートナー」のもと、エネルギー企業としてエネルギーの安定供給を行うとともに、今後も脱炭素社会の実現、環境負荷低減、持続可能な社会への貢献を目指してまいります。

※1…マテリアティ：SDG₅17 のゴール、169 のターゲットの中から、若築建設として優先的に取り組んでいる課題

※2…JCLP：「日本気候リーダーズ・パートナーシップ」の略称。脱炭素社会の実現には産業界が健全な危機感を持ち、積極的な行動を開始すべきであるという認識の下、2009 年に日本独自の企業グループとして設立。国際非営利組織 The Climate Group のローカルパートナーとして RE100、EV100、EP100 の普及窓口を務める。

《参考 1》本件の概要

- 1) 供給先 〒808-0023 福岡県北九州市若松区 若鷺丸係船地
- 2) 対象船 [グラブ浚渫船兼起重機船「若鷺丸」](#)
- 3) その他 [若築建設ホームページ](#)

《参考2》本取組みのご参考写真



若鷺丸全景



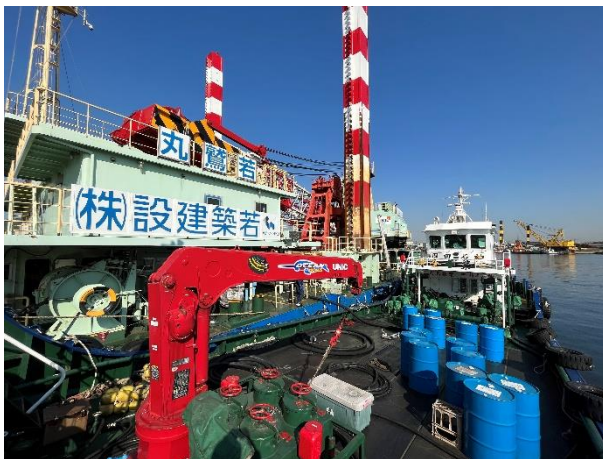
GTL ステッカー（給油口）



給油作業風景①



給油作業風景②



給油作業風景③



『GTL 燃料』は無色透明・無臭の燃料

※GTL 燃料の特徴等、GTL 燃料の詳細につきましては[当社ホームページ](#)も合わせてご覧下さい。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

伊藤忠エネクス株式会社 産業ビジネス部門 環境ビジネス部
向井・坂口 TEL03-4233-8073